

令和七年度後期日程入学試験【小論文A】（人文社会科学部 人間文化学科）

模範解答例

問題一

問一 ㊶マヌカ（マヌガも可） ㊷享受 ㊸狩猟 ㊹希薄 ㊺本源（本原、本元も可）

問二 子どもがそのときそのときの力を使つて、地域の子どもたちの群れや家族のなかで、その一員として生きていくといったイメージ。（五九字）

問三 子どものも個性としての能力に焦点を当て、それ自体の発達ばかりを強調し、人が人とともに生きる共同性の諸相を軽視していること。（六〇字）

問四 （二百字の論述問題は、解答者の考えを、一定の制約のもとに、自由に述べさせるものであり、解答例の作成はその性質上、困難であるので、採点基準を以てこれに代える。）

採点基準

一、問題文及び設問を正確に読解し、その内容を踏まえて解答していること。

一、解答者の考えが論理的に矛盾なく、明確に述べられていること。

一、正確で分かりやすい日本語で解答されていること。

一、文字表記が明瞭かつ正確であること。（誤字、脱字、不正確もしくは甚だしく判読し難い文字などは減点する。）

問題二

問一 永年の努力により国の指定遺跡になることが決まったと非公式発表された遺跡について、記録保存への協力を求められ、道路等の造成によって失われる可能性に気づいたため。（七九字）

問二 （二百字の論述問題は、解答者の考えを、一定の制約のもとに、自由に述べさせるものであり、解答例の作成はその性質上、困難であるので、採点基準を以てこれに代える。）

採点基準

一、問題文及び設問を正確に読解し、その内容を踏まえて解答していること。

一、解答者の考えが論理的に矛盾なく、明確に述べられていること。

一、正確で分かりやすい日本語で解答されていること。

一、文字表記が明瞭かつ正確であること。（誤字、脱字、不正確もしくは甚だしく判読し難い文字などは減点する。）